



中1・中2 孟子フィールドワーク

うぐいすの鳴き声があちらこちらから聞こえる海南市孟子ビオトープで、4月28日に2年生、5月6日に1年生がそれぞれフィールドワークを実施しました。「自然回復を試みる会ビオトープ孟子」の活動を知るとともに、生物を捕まえたり、植物の観察をしたりして、丸一日、たっぷり自然を満喫しました。講師先生として和歌山県環境学習アドバイザーで海南わんぱく公園館長の有本先生や県立自然博物館の学芸員の内藤先生と松野先生をお迎えし、専門的な指導を受け、生徒たちは熱心に耳を傾けました。水生生物の観察では、生徒は果敢に池の中へ入っていき、オタマジャクシ・カエルやザリガニ・エビを捕え、歓声をあげていました。また、他にもカナヘビを捕まえて手に取ったり、葉をしっかりと観察しスケッチしたり、自然の中で貴重な体験ができました。今後授業で、それぞれ興味を持った事柄をまとめ、ポスターを作成していきます。



交通安全教室を行いました

中間考査が終了した、5月20日に、和歌山東警察署交通課の松島さんから、交通安全について講話くださいました。「通学には、時間の余裕を持つことがまず大切」と話してくださいました。慌てることは、事故にもつながります。本校でも、年間数件交通事故が起こっていることを受け、通学時のヘルメット着用を義務化したところです。教わった交通ルールやマナーをしっかりと確認し、登下校に役立ててもらいたいと思います。

